

みなみあいづ

議会だより

平成26年8月8日発行

第33号



■6月定例会議案審議

- 2つの交付金を有効活用・・・2分
- 3件の人事案に同意・・・3分
- 採決結果と議員表決・・・4分

■一般質問

- 12人の議員が町政を問う・・・5分

■南会津地方町村議会議員大会

- 国政・県政に届け！地域の“声”・・・18分

紅白の誇りを賭けて
～田島小学校大運動会～

平成26年第2回定例会が、6月13日から20日までの8日間の会期で開催されました。町からは、補正予算4件、人事案3件、その他議案・報告など6件の議案が提出され、慎重な審議が行われました。



2つの交付金を有効活用 びわのかげ運動公園の整備と 伝統芸能保存伝承事業の財源に

※遊具の写真はイメージです

子ども歌舞伎の稽古のようす

一般会計補正予算（第2号）

2つの交付金が決定した経緯は

星 登志一 議員

がんばる地域交付金が決定した経緯は。

星 登志一 議員

今回交付された金額の根拠は。また、来年度も同様の交付金が交付されるか。

星 登志一 議員

過疎地域等自立活性化推進交付金が決定した経緯は。

総務課長

平成25年度の国の補正予算は870億円、

総務課長

総合政策課長

財政力が弱い自治体へ重点的に配分され、地方単独事業に対して交付されます。

町の地方負担額1億2980万円に交付率

この交付金も、平成25年度の国の補正予算によるものです。

今回の補正予算で、びわのかげ運動公園のトイレ建設と遊具改修に活用します。

33・4%（財政力指数分30%と行政改革努力分3・4%）を乗じて算出されたものです。

年度末に、定額1千万円の事業メニューが決定したので、田島祇園祭屋台歌舞伎保存伝承事業に活用します。

なお、来年度の交付の有無は現段階では不明です。

老朽化している一部の遊具

現段階では不明です。



老朽化している一部の遊具

一般会計補正予算（第2号）

トイレ建設予定地にある私有地への対応は

山内 政議員

びわのかげ運動公園に建設予定のトイレについて、用地の一部に私有地が含まれていません。

買収などにあたり、地権者への対応は。

副町長

びわのかげ運動公園は、これまで交換分合などの手法を用いて地権者に対して丁寧な説明をしながら、各種工事の承諾を得て整備をしてきたところです。

本件の場合、用地買収による方向性が出ていますので、今後は確実な対応を進めていきます。

山内 政議員

建設するトイレの管理は。

生涯学習課長

びわのかげ運動公園は、（公財）南会津振興公社を指定管理者として管理運営していることから、建設するトイレも含めたいと考えています。

星 光久 議員

私有地が残っている理由は。

副町長

この私有地は、整備当時の用地交渉で代替地の希望があったことから、その要望に応えるための手続きによるものです。

星 光久 議員

整備当時と現在では土地の価格に差があると思われませんが、用地の買収価格は妥当ですか。

副町長

この私有地は20年を経過しており、時代の推移に応じた鑑定評価があると思われれます。町としては、現在の鑑定評価に基づいた対応をしていきます。



県立南会津病院脇のトイレ建設予定地（奥は御蔵入大橋）

3件の人事案に同意

副町長に渡部龍一氏が再任

教育委員に五十嵐竹則氏、
渡部謙一氏を任命

副町長選任に同意した後、渡部龍一副町長（写真）から「改めて副町長の重責を感じている。大宅町政2期目にあたり、公約実現のため着実に政策を進めることが、住民福祉の向上につながる」と確信している。と就任のあいさつがありました。



【 第 1 回臨時会 】

議案等番号	議案名	採決結果	大桃 英樹	星 光久	湯田 良一	室井 嘉吉	室井 実	湯田 哲	渡部 優	楠 正次	高野 精一	山内 政	渡部 忠雄	湯田 秀春	星 登志一	阿久津梅夫	五十嵐 司	大竹 幸一	菅家 幸弘	
議 57	専決処分について（南会津町税条例等の一部を改正する条例ほか7件）	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 58	南会津町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 59	工事請負契約について（田島中学校大規模改造事業（第4期）建築主体工事）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 60	物品購入契約について（消防ポンプ自動車購入）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 61	物品購入契約について（小型動力ポンプ付積載車購入）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 62	物品購入契約について（南会津町スクールバス購入）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 63	平成26年度南会津町一般会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【 第 2 回定例会 】

議案等番号	議案名	採決結果	大桃 英樹	星 光久	湯田 良一	室井 嘉吉	室井 実	湯田 哲	渡部 優	楠 正次	高野 精一	山内 政	渡部 忠雄	湯田 秀春	星 登志一	阿久津梅夫	五十嵐 司	大竹 幸一	菅家 幸弘	
議 64	南会津町過疎地域自立促進計画の変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 65	物品購入契約について（会津高原だいらスキー場ゲレンデ整備車購入）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 66	物品購入契約について（建設機械購入）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 2	平成25年度南会津町繰越明許費繰越計算書の報告について	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 3	平成25年度南会津町事故繰越し繰越計算書の報告について	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 67	平成26年度南会津町一般会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 68	平成26年度南会津町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 69	平成26年度南会津町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 70	平成26年度南会津町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 71	工事請負契約について（南郷小学校大規模改造事業（校舎）建築主体工事）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 72	教育委員会委員の任命について	同	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 73	教育委員会委員の任命について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 74	副町長の選任について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に参加しません。

議案等番号の見方：議＝議案 報＝報告
 採決結果の見方：可＝可決 否＝否決 同＝同意 承＝承認
 表 決 の 見 方：○＝賛成 ●＝反対 棄＝棄権
 除＝利害関係があるため審議・表決から除く

平成26年6月定例会の一般質問は、6月18日・19日の2日間にわたり行われ、通告した12人の議員が登壇し、町の対応や考え方などを問いました。

登壇順序・質問項目

- 1 渡部 忠雄 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑥
①これからの町の景観形成について
②町の交通事情について
- 2 高野 精一 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑦
①役場の機構改革について
②高齢者の為の街づくりについて
- 3 湯田 秀春 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑧
①町づくり条例を制定すべき
②はいかいSOSネットワーク事業の必要性
③断水時の対策について
- 4 楠 正次 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑨
①心の障がい者を支える取組みについて
②養護教育について
③次世代を担う児童生徒の通学路の安全対策について
④学校給食について
- 5 湯田 哲 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑩
①駒止湿原をライン電話で通話可能に
②IT授業の検証と町内全校のコンピューターの現状は
③AED数増設と配置マップ全戸配布及び24時間使える体制を
④集会所の維持管理の公平化を
- 6 星 登志一 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑪
①交付税の特別枠「地域の元気創造事業費」の実態
②東京五輪と町の関連事業対策
③消滅する市町村523に関する我町の実態は
- 7 室井 実 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑫
①「山の日」が8月11日と正式に国会にて決定！よりインパクトのある町の対応は
②自転車における新道交法の教習、周知の状況について
③田島駅周辺の町造りの計画について
④全会津への入り口として滝原の駅に関する計画について
⑤祇園祭の存続について
- 8 室井 嘉吉 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑬
①雹（ひょう）の被害について
②第6期介護保険事業計画について
- 9 渡部 優 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑭
①幸福度の自給自足を上げるには
②市街地活性化について
- 10 大桃 英樹 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑮
①ふるさとづくり表彰制度設立で学び合いの地域づくりを
②新庁舎建設に合わせ町の賑わいづくりを
③子どもたちの力で我が町の「是」を作ろう
- 11 星 光久 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑯
①農業の活性化と給食事業への活用策について
②荒海中学校土地問題について
③NHK朝のラジオ体操の町内放送について
- 12 大竹 幸一 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑰
①合併10周年を記念し、町民の歌の制定を
②結婚祝い金の創設を
③屋根雪落雪システムへ補助を
④教育委員会改革について



一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



景観の保全と伝承の具体的な計画は

町長＝モデル地区で景観形成を進める

問

景観条例には、歴史的建造物や伝統行事、自然の景観を次世代へ継承するところがあるが、モデル地区を決めるなど具体的な計画は。

町長

本年2月に策定した「南会津町景観計画」に基づき、町内各地区の歴史や文化を結びつけ、地区住民合意による景観形成のルールづくりが重要です。今後は、住民合意が得られた地区をモデル地区として、景観形成を進めます。

問

景観に大きく影響する、空き家対策の進捗状況は。

町長

5月までに675件の空き家が確認されました。そのうち危険空き家は、所有者を特定して

早急に対処するよう指導、助言しています。また、管理が適正な空き家は、所有者の意向を調査し、活用への協議を進めます。

また、管理が適正な空き家は、所有者の意向を調査し、活用への協議を進めます。

会津縦貫南道路の本町ルートは

町長＝詳細なルートは不明

問

会津縦貫南道路の本町を通るルートは。また、国道289号

線とのつながりで、会津北部や白河方面への速やかな通行が可能ですか。

町長

ルートは現在、福島県と関係機関で協議中です。また、本年度は猛禽類の調査やルートを検討する概略設計の予定

です。詳細なルートは不明ですが、広域ネットワークが確立され、移動時間や救急患者の搬送時間が短縮されることで、会津北部や中通りへのアクセス向上も期待されます。

問

会津縦貫南道路を利用する観光客などへの消費対策は。

町長

今後、観光交流人口の増加が見込まれ、国道289号線バイパスの進捗状況や田島地域中心市街地の振興策を見極め、商工会や関係機関と調査研究し、活性化策の議論を深めます。



重要伝統的建造物群に指定された「前沢集落（館岩地域）」

町政を問う 一般質問



役場の事務を改善し効率化を検討しては

町長＝職員の勤務実態を把握し職場環境を改善

問

民間企業は、部署・部門で横断的な業務を遂行し、残業しない企業が業績を伸ばしています。役場も、組織機構の見直しや事務の改善、効率化を検討すべきではない。

町長

町は、平成23年3月に策定した「第2次南会津町行政改革大綱」に基づき、事務事業や人員配置、事務処理方法などを常に見直していきます。

また、各課の業務内容や想定人員を協議する「人員要求ヒアリング」で、組織機構の見直しと事務の改善に取り組んでいます。

しかし、業務量が多く超過勤務が必要な部

署は業務内容を精査し、職員同士が協力し合い働きやすい職場環境の整備に努めます。

問

コンプライアンスや危機管理の面から、実態を把握し管理する部署を配置する考えは。

町長

地方分権の進展や少子高齢化の進行などで、高齡化の進行など、行政需要が増大するなか、職員が安心して職務に専念できるよう、危機管理体制の構築に取り組む必要がありすが、現時点では設置の考えはありません。

高齡の方々に入浴券の無料配付を

町長＝助成事業との整合性を検討

問

高齡者が元気で長生きし、層活躍いただくため、郡内の温泉施設や旅館、民宿と提携して、無料入浴券を配付する考えは。

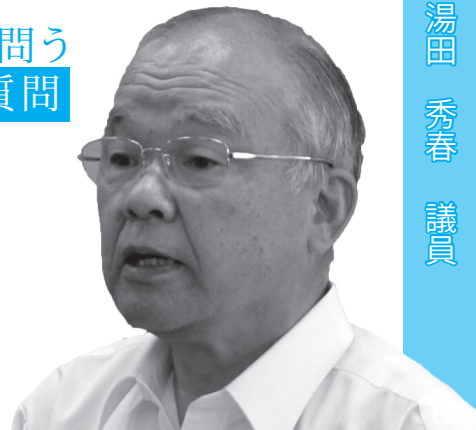
町長

町は高齡者に対し、生きがいを持つて元気に暮らしていただけるよう、さまざまな支援をしています。

その一環として「温泉施設利用助成事業」により、町内の指定温泉施設を利用した老人クラブや福祉団体を対象に、入浴料などの一部を助成していますので、本事業との整合性を考えながら検討します。



事務改善と組織機構の見直しが求められる（写真は本庁舎）



町づくり条例の制定を

町長＝住民主体の町づくりを進める

問

今後とも変化する行政に対応するため、長期的視野に立った政策が必要で

す。
住民自治に基づく自治体運営の基本原則を定めた「町づくり条例」を制定すべきでは。

町長

まずは、自治意識の高揚や協働の推進につながる取り組みを進め、広く町民の声を町政に反映させることが重要です。
気運が高まれば条例を制定し、住民自治と協働の推進に務め、住民主体のまちづくりを進めます。

はいかいSOSネットワーク 事業の立ち上げを

町長＝関係機関と連携しネットワークを強化

問

認知症で徘徊し、一時行方不明になる方が多くいます。

南会津町はいかいSOSネットワーク事業を立ち上げては。

町長

徘徊する高齢者を、早期に見つける仕組みづくりなどが重要な課題です。
町はこれまで、捜索

は、警察署からの情報を基に本人や家族の同意を得て防災行政無線での呼びかけをしてきました。

今後は、人命にかかわる緊急事態には、関係機関との連携が重要であることから、より効果的なネットワーク事業の構築と情報の共有化に向けて取り組めます。

用語

徘徊SOSネットワーク事業

徘徊などによる行方不明者があった場合に、行方不明者の情報を共有し、早期発見・保護につなげるためのネットワークを確立する事業

断水発生時の対策は

町長＝監視・連絡体制を強化

問

4月4日の末、明に発生した、

丹藤地区の水道管破裂による断水への対応は。また、不便のあった世帯への対応と、今後の断水対策は。

町長

今回の断水事故は早朝であったことから、水道使用者への周知が遅れたため、防災行政無線によりお詫びを含めて広報しました。

早朝や夜間、休日に発生する水道に関するトラブルは、宿直員や日直員から担当職員に連絡が入りますが、今後は一層迅速に対応できるよう、各施設の監視体制と連絡体制の強化に努めます。



心の障がい者を支える取組みを

町長＝医療機関と連携し心のケアを

問

精神疾患の患者は、がん患者の約2倍の328万人と増え続けています。過去5年間の精神障がい者保健福祉手帳の交付実績と、自立支援医療制度の精神通院医療利用者数は、
また、精神疾患に対する認識と対策は。

町長

平成25年度末の精神障がい者保健福祉手帳所持者数は84人で、過去5年間の交付実績と通院医療利用者数は下表のとおりです。
精神障がいの原因は、先天性、内因性、外因性、心因性などさまざまであり、本人やご家族に大きな苦痛があると認識しています。

精神障がい者保健福祉手帳の交付実績及び自立支援医療制度の精神通院医療利用者数

年 度	保健福祉手帳 交付実績	精神通院医療 利用者数
平成21年度	11人	162人
平成22年度	13人	167人
平成23年度	8人	138人
平成24年度	10人	162人
平成25年度	9人	160人

また、個別訪問による状態確認や指導、相談などを行うとともに、在宅精神障がい者の社会復帰を目的に医療機関と連携し、今後心のケアに努めます。

養護教育の環境整備を

教育長＝分校などの設置を要望

問

小中学校では、養護教育に対する学習環境が整い教育効果が上がっていますが、中学校卒業後の教育環境は、南会津郡内でも環境が整っていません。

教育長

南会津郡内に特別支援学校はなく、西郷養護学校などの特別支援学校への通学は距離的に厳しい現状があります。このことから、県と各地域の児童相談所が調整し、児童福祉法に基づく障害児施設への入所が決定されます。しかし、遠距離を理由とする入所は優先度が低くなることから、

また、震災以降は教育環境が変化し入学が困難であると言われていますが、その認識と対策は。

関係機関と連携して郡内に特別支援学校の分校など設置を要望し、特別支援教育の充実に取り組みます。

その他の質問

- ・次世代を担う児童生徒の通学路の確保について
- ・学校給食について



ライン電話で駒止湿原入山者の安全を

町長＝実現に向け関係機関と協議

問

駒止湿原への入山中にけが

人や病人が出た場合に、緊急連絡ができない問題が指摘されています。

ライン電話が使用できるよう、無線ルータを設置してインターネット環境を整える考えは。

町長

駒止湿原付近は携帯電話不通話エリアであり、入山中にけがや病人が出た場合は、監視員が通話可能エリア

まで移動して緊急連絡をしていました。

このような状況を改善するため、衛星携帯や有線電話の設置を検討しましたが、個人が携帯電話で直接通話できることが最も望ましいと考えます。

無線ルータの設置も、入山者の安全がより高まることが期待されますので、携帯電話不通話解消対策と合せて検討していきます。

用語

ライン (LINE) 電話

スマートフォン用の無料通話・メールアプリ「ライン」で、ユーザー以外の携帯電話や一般の固定電話と格安で通話できるインターネットサービス
国内通話のほか、国際電話の通話にも利用可能

集会所の維持管理を公平に

町長＝修繕などの補助制度の見直しを検討

問

世帯数が減るなかで、各行政区の財源確保も厳しく、集会所の維持管理も困難になっています。

そこで、集会所を町所有とし、利用料を徴収するような管理をしては。

町長

本町の集会所は、町の所有、行政区の所有、そして集会所の無い行政区の三つの形態があります。

これら集会所は、各行政区の要望で町が整備したものをはじめ、それぞれの地域の事情でこのような形態に至ったものと認識しています。

認識しています。行政区の維持機能の充実のため、集落応援交付金などによる支援の充実と、補助制度の見直しを検討します。

また、集会所の維持管理経費は、施設や集落の規模により負担は異なりますが、高齢化が進むなどで財源確保が困難な事情も



集会所の管理体制の充実が求められる
(写真は宮床多目的集会所)

その他の質問

・AED数増設と配置マップ全戸配布及び24時間使える体制を
・IT授業の検証と町内全校のコンピューターの現状は



地域の元気創造事業費配分の実態は

町長＝自治体の行革努力と経済活性化の成果による

問

町が把握している配分方法

と配分額は。

また、経済活性化に対する対応策は。

町長

新たに設けられたこの事業費は、人口を算定の基本として地方自治体の行革努力と地域経済活性化の成果が反映されます。

具体的には、職員数の削減率やラスパイレズ指数、農業産出額などが影響しますが、本町に対する配分額は、国の補正係数が示されていないため具体的な把握はしていません。また、経済活性化分の配分についても、普通交付税算定の結果を見極めて判断します。

本町の人口減少の実態と対応策は

町長＝就労対策と定住施策で対応

問

日本創成会議によると、人口が1万人以下に減少する自治体は523自治体と発表されました。

町長

平成20年に発表された「国立社会保障人口問題研究所」の推計では、平成47年の本町の人口は1万2177人で、人口の変動要因は、出生と死亡による自然増減と転入転出による社会増減に区別されます。

本町の推計人口および人口減少の原因と対応策は。

本町では、合併から8年経過した本年3月末までに1471人の自然減で社会増減では1335人の減少となっており、就業機会を求める人口流出が大きな要因と考えます。

この状況を踏まえ町は、平成26年度の予算編成スローガンを「少子高齢化・人口減少に歯止めを！U・Iターンしやすいまちづくり」と定め、就労対策としての企業支援で雇用拡大を進めるとともに、安心して生活できる定住施策を進めます。



合同企業説明会のようす（平成25年7月26日：御蔵入交流館）

その他の質問

・東京五輪と町の関連事業対策



町民からアイデアを募り「山の日」で町のアピールを

町長＝ハイキングガイドブックで魅力を発信

問 「山の日」が8月11日に決定しました。

町民からアイデアを募集し、町民と一体になったアピール活動をする考えは。

町長 本町にとって山々は観光資源であり、各地域の山開きをとおして誘客活動を展開しています。

「山の日」制定により、多くの方が山に親しむ機会が増えると予想されますので、ハイキングガイドブックなどで本町の山々の魅力を発信していきます。また、観光物産協会などの関係機関と連携し、山開き以外の誘客活動について議論していきます。

新道路交通法の教習・周知の状況は

町長＝啓発活動の充実で事故を防止

問 新道路交通法の教習と周知の進捗状況は。

として実際に国道を利用した教習を実施しています。

町長 小中学生に対しては、周知チラシを配布して交通安全教育の充実に努めるとともに、南会津警察署と連携し、交通安全教室の実地訓練

今後も啓発活動に努め、自転車事故の安全対策に取り組みます。

平成25年6月14日公布

道路交通法の一部が改正されます。

警察庁・都道府県警察

道路交通法の改正を啓発するポスター

会津高原尾瀬口駅「憩いの家」を「滝原恋路ステーション」に

町長＝名称変更の熟度を見極め検討

問 「会津高原憩いの家」を「滝原恋路ステーション」

に名称変更する考えは。

町長 名称変更によって、野

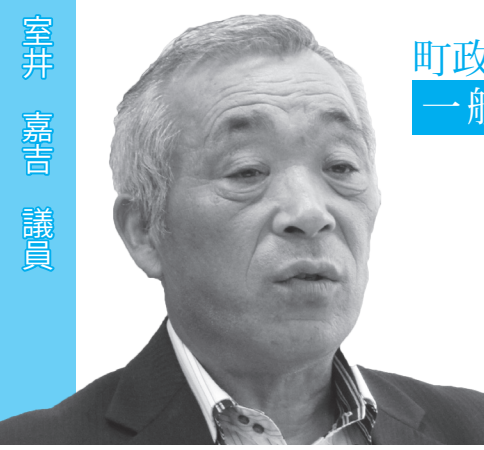
岩鉄道会津鬼怒川線や会津鉄道会津線の利用促進や、地域の活性化につながるものが重要です。

変更の目的やその後の活用を、鉄道運営会社などの関係団体と共有し、名称変更の熟度を見極めて検討していきます。

その他の質問

- 田島駅周辺の町造りの計画について
- 祇園祭の存続について

町政を問う
一般質問



雹被害の状況と支援策は

町長＝弾力的な支援策で対応

雹の被害状況

作物名	被害面積	被害額
野バラ	10.0 畝	1,339万2千円
アスパラガス	4.4 畝	130万6千円
リンゴ	4.0 畝	101万8千円
たまねぎ	0.5 畝	53万6千円
加工トマト	0.2 畝	20万円

町長 野バラ、アスパラガス、リンゴ、たまねぎ、加工トマトなどが損傷被害を受け、被害総面積は19・1畝、被害総額は1645万2千円です。

なお、被害の内訳は左表のとおりです。

問 5月29日に、永田地区と中荒井地区を中心に局所的に降った、雹の被害状況と被害額は。



被害を受けたアスパラガス（白い部分が雹）

問 被害に対する支援は。

町長 今回の雹被害の特徴は、被害を受けた品目が永年作物や多年草である野バラ、アスパラガス、リンゴなどが大部分を占めており、大きな影響を及ぼしています。

町は、南会津農林事務所と連携して生育状況を確認し、管理方法など技術指導を行うとともに、被害農家の負担軽減、再建意欲や継続意識が失われないよう、弾力的な支援策を講じていきます。

第6次介護保険事業計画の課題は

問 町長＝地域支援事業の移行をスムーズに

町長 第6次介護保険事業計画の課題は、訪問介護と通所介護は、スムーズに移行できませんか。

問 地域支援事業に移行される

町長 要支援認定を受けている方の予防給付の見直しなど、新しい総合事業の開始が検討されています。

住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、在宅サービスや施設サービスをどのよう

に充実させていくのか、そして、介護保険料負担額をどう抑制していくのが課題です。

町長 新しい総合事業は、第6期事業計画がスタートする平成27年4月から施行する予定ですが、訪問介護と通所介護の移行期限は平成30年3月までとなっています。介護サービス事業者などと協議を進め、スムーズに移行できるように検討していきます。



幸福度の自給自足を上げるには

町長＝日々の生活が平穩に営まれること

問

福祉向上を目的として、さまざまな提案をし施策を講じていますが、町長が考える幸福とは。

町長

一概に定義できるものではありませんが、個人としては、精神的な心の充実感に、日々の平穩な生活が営まれていることが、幸福と感じています。

問

我が町での幸福の醸成は。

町長

子育て、教育、仕事、健康、地域や家族とのつながりなどの生活環境を整えることが、満足の高まりにつながるものと考えています。

問

少子高齢化は、町民の幸福度を上げるチャンスと考えます。そのための施策を考えては。

町長

集落応援交付金により地域行事が増え、集落内で顔を合わせる機会が多くなりました。地域内の特色ある取り組みを支援することが、幸福度の向上につながるものと思います。

問

町長の1期目就任以降、施策として姿が見えませんが、今後の進め方は。また、我が町の人口動態を考えると、これまでの考え方を見直すべきでは。

町長

社会経済情勢も変化していることから、商工会や関係機関とともに報告書の検証を行いながら、中心市街地の活性化に向けた調査研究を進めたいと考えています。今後も商工業者の力が積極的に反映されるようできる限り支援し、中心市街地の活性化に務めていきます。

今後の市街地活性化の進め方は

町長＝関係機関と調査研究を進める



さまざまなイベントが開催され賑わいがあふれた「七夕まつり」
主催：南会津町商業振興協同組合・まちなか楽座



ふるさとづくり表彰制度で学び合いの地域づくりを

町長＝事例発表の機会を設けている

問

地域づくりの
実践をより多
くの町民にお知らせし、
互いに学び合うための
「ふるさとづくり表彰
制度」を設ける考えは、
また、本制度創設に
より、集落応援交付金
事業、元気のである地域
づくり支援事業の効果
を高めては。

町長

互いに学び
合うことは、
地域の活力醸成やまち
づくりを進めるうえで
大きな効果があるため
重要なことだと考えま
す。
今年度も、昨年同様
に事例発表の機会を設
けることで町民誰もが
聴講でき、さらに広報
紙などでも広く紹介し
ていきます。
本表彰制度も有効と
思いますが、本来の目
的がややもすると受賞
が目的になる可能性も
ありますので、現段階
では制度創設は考えて
いません。

その他の質問

子どもたちの力で我が町の
「是」を作ろう

新庁舎建設で中心市街地の活性化を

町長＝具体的内容は住民ワークショップで検討

問

中心市街地活
性化を、新庁
舎建設と合わせて組み
立てる考えは。

問

定期的な、地
元で採れた野
菜や物産なども販売す
る「朝市」を開催する
考えは。

町長

新庁舎建設
基本設計プ
ロポーザルでは、新庁
舎を駅と中心市
街地のおもてな
し空間と位置づ
け、新庁舎の存
在感と合わせて
中心市街地の認
識を高める提案
がされていま
す。

町長

南会津町商
業協同組合
が田島スタンプ会の協
力を得て、町道上中町
後原線で「軽トラ市」
を開催し、中心市街地
活性化に向けた取り組
みをしています。
今後、新庁舎
建設に合わせ
て、さらなる賑
わいづくりに向
けた取り組みに
なるよう支援し
ていきます。

これらの具体
的な内容は、今
後の住民ワーク
ショップで検討
されると思いま
す。



新庁舎建設基本計画住民ワークショップのようす



農業の活性化と給食事業への活用は

町長＝地元農産物を学校給食に活用

問

小中学校の児童生徒の減少や学校給食の統廃合を見据え、給食センターを活用し高校生まで拡大しては。

町長

小中学校の給食は、学校給食法に基づき、教育の目的を実現するために提供しています。県立高校は、現時点で利用の考えがないことから、高校給食への活用は困難です。しかし、今後も児童数の減少が予想されるので、給食センターの供給量の余力を勘案し、他の公共施設への提供についても考えていきます。

問

地元農産物の有効活用、ブランド化の推進、原発事故風評被害の払拭の一助となる農業振興策は。

町長

地元農産物の活用策として、「町の駅」での販売や学校給食への食材として活用しているほか、主要な公共施設



町立田島学校給食センター

での活用をお願いしています。

さらに、町内直売所や各道の駅などを拠点に、生産者が新鮮な農産物の販売をしています。

今後、ブランド化や6次化など付加価値を高める取り組みを進め、消費拡大につなげたいと考えています。

荒海中学校の土地問題は

教育長＝顧問弁護士と相談して進める

問

荒海中学校の土地問題の現状と解決策の見通しは。また、空き家対策との関連は。

教育長

問題の解決に向け継続して話し合いをしています。

今年4月には、家屋が雪により破損したことから所有者と話し合いを持ちましたが、これまでの主張の繰り返しであり、今後も顧問弁護士と相談しながら、

問題解決の手法を含めて検討します。

また、この家屋は協議中であることから「空き家条例」とは切り離して考えていきます。

その他の質問

・NHK朝のラジオ体操の町内放送について

町政を問う 一般質問

合併10周年に向け「町民の歌」を

町長＝記念事業の中で検討

問

平成28年3月の合併10周年

に向け、さらなる町民融和のための検討委員会を立ち上げ、「町民の歌」を作るべきでは

町長

「町民の歌」を作ること、は、町民の融和や町の一体感の醸成、郷土愛を育むうえでも、効果が期待できるものです。

今後、合併10周年記念事業を検討するなかで、「町民の歌」の制定に向け、検討委員会などの立ち上げを含めて検討していきます。

結婚祝い金の創設を

町長＝定住化・少子高齢化対策として検討

問

近年の出生と婚姻の件数は左表のとおりで、減少傾向が続いています。

出生が100を、婚姻が50を割らないための対策が必要であり、出生の前提となる結婚を祝うための「結婚祝い金制度」を創設し、少子化対策の一助としては。

町長

平成25年度厚生労働白書では、結婚できない理由で「適当な相手めぐり合わない」が各年代男女とも多くなっています。

また、結婚の障害として、男女とも4割強の方が、「結婚資金」として挙式や新生活にかかる費用を挙げています。

人口動態調査令第3条の規定による人口動態調査票の件数

年度	出生	婚姻
18	151	68
19	132	86
20	138	63
21	102	53
22	121	54
23	100	51
24	116	57

本制度により、周囲の支援や励ましで結婚に結びつくことも考えられますので、さらなる定住促進や少子高齢化対策として検討します。

教育への政治介入の強まりは

教育長＝政治的中立性は確保される

問

地方教育行政に関する法律の改正が国会で審議されています。

改正されると、教育への政治介入が強まるのでは。

教育長

改正の趣旨は、教育の中立性などを確保しつつ、責任の明確化、危機管理体制の構築、首長との連携強化を進めることで、地方に対する国の関与を見直すことです。

また、教育委員会は引き続き執行機関と位置づけられ、教科書採択などの職務権限は、これまでどおり専決事項に指定されます。このことから、教育委員会の政治的中立性などは確保されるものと考えています。

その他の質問

・屋根雪落雪システムへ補助を

第65回 南会津地方町村議会議員大会
主催 南会津地方町村議会議長会



室井 嘉吉議員



渡部 優議員

要 望 事 項

- ①過疎地域自立促進事業の支援について
- ②国道352号（穴原～耻風間）の改良促進について
- ③国道289号（駒止峠）無散水融雪施設設置について
- ④へき地医療の充実と県立南会津病院の整備拡充について

今後は国と県に対し、実現に向けた粘り強い要望活動が行われます。

大会では、本町議会から渡部優議員と室井嘉吉議員が4つの要望事項を提案し、満場一致で決議されました。

念講演が行われました。連合会の阿久津文作専務理事（針生出身）による「南会津の地域振興について」と題した記念講演が行われました。

この大会は、南会津郡内4町村の議員が一堂に会して、南会津地方の諸問題を共同で解決していくことを目的に毎年開催され、今年で65回目になります。

7月3日、只見町の「季の郷湯ら里」で、南会津地方町村議会議長会が主催する議員大会が開催されました。

第 1 回 臨 時 会

平成26年5月23日

議案審議



会議の冒頭、再選された大宅宗吉町長が登壇し、町政に対する2期目の所信を表明しました。

その後、町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を含む7つの議案が提案され、審議の結果、全会一致で可決しました。

町長 特定事業の財源に充てるという考えもありますが、現状では、町政全般や緊急性がある事業などで活用していきたいと考えています。

大宅町政の2期目がスタート

一般会計補正予算（第1号）

選挙管理委員会及び補充員の選挙

町長給与減額分の活用は

大竹 幸一 議員

町長給与の減額分を財源とした、新たな事業を実施する考えは。

任期満了に伴う委員及び補充員の選挙が、地方自治法の規定に基づき行われました。その結果、次の方々が当選されました。

【委員】

- 澤田洋一さん（長野）
- 岩淵国男さん（下山）
- 高山利一さん（八総）
- 菊地新六さん（小塩）

【補充員】

- 第1順位 小島秀夫さん（長野）
- 第2順位 星 健象さん（戸中）
- 第3順位 酒井敬三さん（青柳）
- 第4順位 青木 泰さん（界）

議案の採決結果と議員表決は4ページをご覧ください。

議会議員補欠選挙

党派：無所属
 地区：田島・川島
 職業：農業
 議会の主な役職
 ・産業建設委員



議席番号 **2** 星光久
 3期目 (70歳)

4月15日、任期満了に伴う町長選挙に合わせて、議会議員の補欠選挙が告示されました。
 欠員1人に対し、立候補の届出が同数であったことから、無投票により星光久氏（無所属・元）が当選されました。
 これにより、定数18人の体制でより充実した議会活動が展開されます。

町へ提案書を提出

議会機能が充実した新庁舎の建設を

新庁舎建設事業に関する特別委員会（平成25年6月設置、委員長 山内政議員）から、行政区長・行政連絡員との懇談会や先進地庁舎視察などの調査結果が、平成26年第1回臨時会で報告されました。
 これを受けて議会は、新庁舎建設事業の基本設計に調査結果を反映させるため、町に対して提案書を提出しました。



左から大宅町長、芳賀沼議長、菅家副議長、山内委員長

議会報告会

＝町民と共に歩む議会であるために＝

3月定例会の結果を1会場で報告

宮床区（62回）

日時	4月24日（木）午後6時00分から
会場	宮床多目的集会所
参加者	区長ほか1名
出席議員	湯田 哲・室井 実・渡部 優・湯田良一 星登志一
質疑事項	① 新規就農者就農促進住宅建設事業について ② 集会所の維持費の負担について
要望・意見	① 用水路取水口の土砂撤去を ② 神社の大木伐採への支援を



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。

議員の定数と報酬の今後のあるべき姿は・・・

まずは学ぶ！

平成18年3月20日、町村合併により51人の議員でスタートした議会は、在任特例が満了する平成19年5月から22人に、さらに4年後の平成23年5月からは18人に、議員定数を削減しながら議会改革に取り組んできました。平成23年の改選期では、議会は議員定数と議員報酬に関する特別委員会を設置して、調査研究や議員懇談会、アンケート調査を経て、結果「定数Ⅱ減」「報酬Ⅱ現状維持」として現在に至っています。あれから4年・・・平成27年の改選期に向け、議会は前回同様特別委員会を設置して今後の議会運営や議員活動に基づいた議員の定数と報酬のあるべき姿を見極めようとしています。

6月1日、山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭先生（写真）を講師に招いて議員研修会を開催し、全国で取り組まれた町村議会の事例紹介や、その賛否などの意見を踏まえて実りある研修会になりました。今後特別委員会では、先進地の視察や住民アンケートなどにより方向性を見出し、議会への報告書をまとめていきます。



福島県町村議会議長会自治功労表彰 受賞おめでとうございます

楠正次議員（館岩地域：3期目）が、議員在職11年以上のご功績により、福島県町村議会議長会会長から自治功労表彰を受賞されました。

今後も町政進展のため、一層のご活躍を期待いたします。



議会傍聴におこしく下さい

平成26年第3回定例会
9月12日(金)開会予定

議会傍聴の手続きは簡単です。本庁3階傍聴席入り口で住所と名前を書くだけです。傍聴席で議案も閲覧できます。

議会広報委員会
委員長：室井嘉吉
副委員長：高野精一
委員：大桃英樹
委員：湯田良一
委員：室井実
委員：楠正次

発行 南会津町議会：〒967-8501 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1
TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-6102
編集 議会広報委員会：E-mail:gikai@town.minamiaizu.lg.jp

